

# 環境おかやま大賞受賞

## 岡山県立勝間田高等学校

11月20日、岡山県総合福祉会館に於いて表彰式が行われ、本校が長年取り組んできた環境教育の功績に対して、岡山県からグリーン環境科に「環境おかやま大賞」をいただきました。

環境おかやま大賞は、県民の環境意識の高揚を図るために、県内各地において環境の保全に資する活動に自主的かつ積極的に取り組んでいる個人・団体等を顕彰するものです。22年度は4部門で、4個人4団体が選ばれましたが、本校は「環境保全推進部門」で受賞しました。

本校の受賞理由は

- (1) 平成6年度から継続している中国内蒙古自治区における砂漠緑化ボランティア「緑の協力隊」への参加
- (2) 平成8年度からの「森林体験交流学习」として地元小中学生に森や水の学習会の実施
- (3) 平成17年度からの地球温暖化防止活動としての津山市における「共生の森づくり」ボランティアへの参加
- (4) 「グリーン環境科」による美咲町の巨樹「北の一本杉」保存活動、美作市「さくとう山の学校」森林整備活動などの地域の森林保全活動

これらの活動が環境保全全般にわたる率先的かつ先進的な活動であると評価されたものです。



写真1 小学生との森林体験交流学习

中でも「緑の協力隊」は、大きな視野でこれからの環境問題を考えるダイナミックな活動であり、本校環境教育の大きな契機となりました。もちろん高

校生が簡単に取り組める活動ではありません。きっかけは平成6年度に本校で行われた鳥取大学名誉教授遠山正瑛先生の講演会です。「一番だめなのは高校生である。緑化ボランティアに小学生と大学生は参加する。高校生は全く参加しない。」という発言に反応した生徒からの「それなら参加しよう。」という一声から始まったと聞いています。

その年、生徒4名、教員2名で始まった勝間田高校「緑の協力隊」は、第1回から引率された村上和栄先生の熱意に支えられ、また地元勝央町からの御理解ある援助もあって活動が継続されてきました。そして今、砂漠化されていた現地に徐々に復活したポプラの森には「勝間田高校の並木道」が設けられています。

その村上和栄先生が平成14年在職中に亡くなられ、同時期に新型コロナウイルスの流行で中国への旅行が制限されたこともあって、活動が中断していたのですが、平成19年より再開し現在に至っています。

本校ではグリーン環境科のみならず全校あげて生徒一人ひとりが環境との関わりを深め、一般の方との交流も深めて来ました。今回の受賞を期に環境教育をさらに発展させていきたいと思っています。



写真2 21年度「緑の協力隊」の生徒4人



写真3 授賞式の様子